

## 式 辞（小中学部）

穏やかな陽ざしに春の訪れを感じるこの佳き日に、小学部、中学部を卒業される皆さん、ご卒業おめでとうございます。

また、ご来賓のお二方ならびに保護者の皆様のご臨席を賜り、福岡県立築城特別支援学校小学部中学部第12回卒業証書授与式を挙行できますことを感謝申し上げます。

今年度も昨年度に引き続き、新型コロナウイルスの感染防止に気をつかいながらの学校生活が続きました。しかし、そのような困難な状況の中でも、皆さんは常に前向きに明るく元気に築城っ子生活に取り組んでくれました。

この2年間はいろいろな学校行事が変更になって残念でしたが、皆さんにとって小学部・中学部での一番の思い出は何ですか。校長先生は、「作品展示・作業学習販売会」の皆さんの感性豊かで個性的な作品や今回初めて実施したeスポーツトーナメントでの出場者の集中して頑張る姿が心に残りました。また、とても嬉しかったのは、昨年度は中止になった修学旅行が実施できたことです。小学部の皆さんと乗った門司港海峡クルーズ、海峡プラザでのお土産購入、久しぶりに皆さんの明るい笑顔を見ることができて、こちらまで幸せな気持ちになりました。貸切バスの中での交流も楽しかったです。中学部の皆さんと行った城島高原パーク、アトラクションに乗る皆さんの笑顔はとても生き生きと輝いていました。バスの中ではカラオケも歌わせてもらって、一緒に最高の思い出作りができました。

校訓のとおり「げんきで なかよく たくましく」成長した皆さんを誇りに思います。これから進む中学部・高等部でも、いろいろなことにチャレンジすることで、心と体を鍛え、友達と協力することの大切さを学び、最後まで頑張りぬくたくましさを身につけてください。そして、笑顔であいさつできる「感じのいい人」でいてください。

最後に「言葉と笑顔の貯金」という話をしたいと思います。人は誰でも困ったなあと思うことが起こる可能性があります。そんな時に助けてくれるのが、毎日の「感じのいい言葉」と「感じのいい笑顔」です。「おはようございます」「こんにちは」「ありがとうございます」「よろしくお願ひします」これらの言葉と笑顔は貯金ができます。貯金がたまれば、困ったときに誰かが助けてくれる優しい人間関係が身につきます。どうか、友達やおうちの方、地域の人たちに「感じのいい笑顔」で「感じのいい言葉」をたくさんかけて、貯金をふやしてみてください。

保護者の皆様、お子様のご卒業、誠におめでとうございます。本校の教育活動、PTA活動にいつも温かいご理解とご協力をいただき、本当にありがとうございます。そして、ともにお子様を導き、たくましい築城っ子を育めたことに心から感謝しております。今後とも引き続きご支援いただきますようお願い申し上げます。

卒業する皆さんの未来に笑顔があふれ、一人一人が輝ける進路実現のために、自分らしい「できる」を積み重ねていかれることを願って、式辞といたします。

令和4年 3月8日

福岡県立築城特別支援学校長 白川 英治